

「舞台連絡設備」第3回アンケート調査票

※アンケート回答欄の（ ）内に該当する文字・数字を、該当する項目の□内に✓マークをそれぞれ記入願います。

■貴施設について

Q1 貴施設について教えてください。

施設名：()

開館年：西暦()年

官民区分：公共施設 民間施設

管理運営方式：直営 委託管理（指定管理者制度） 委託管理（指定管理でない）

舞台技術者：常勤()名 必要時のみ出勤

■会場について

※過去に舞台連絡設備アンケートに答えて頂いた方は、Q3～Q6の質問は記入頂かなくて結構です。

Q2 会場の名称と客席数、位置づけ、分類を教えてください。

名称：() 客席数：()席

位置づけ：大ホール 中ホール 小ホール その他()

分類：劇場 音楽ホール 多目的ホール 多機能ホール

Q3 会場に配置される舞台技術者の人数を教えてください。

舞台()人 照明()人 音響()人 その他()人

Q4 頻度の高い演目種別を3つずつ選択し、頻度の高い順に1～3の数字を記入してください。

プロ公演：演劇・ミュージカル バレエ・ダンス 日舞・古典芸能 クラシック音楽
ポップス 映画上映 講演会・集会 その他()

市民利用：演劇・ミュージカル バレエ・ダンス 日舞・古典芸能 クラシック音楽
ポップス 映画上映 講演会・集会 その他()

Q5 催し物における自主制作（自主事業）の頻度について当てはまるものを1つ選択してください。

ほとんどない 年2回以下 年5回以下 年10回未満 年10回以上

Q6 会場に設置されている設備等について該当するもの全てにチェックしてください。

音響反射板 オーケストラピット 迫り機構 本花道 脇花道

緞帳 オペラカーテン 可動観覧席 その他()

「舞台連絡設備」第3回アンケート調査票

■音声モニタ設備について

音声モニタ設備とは、舞台・客席の音を技術諸室、楽屋、ホワイエなどで聞くための設備です。
収音するためのエアマイク、調整部、スピーカなどで構成されます。

Q7 貴ホール・劇場に音声モニタ設備が設置されていますか？

- ある : 形態 単独の音声モニタ設備 舞台音響設備の一部
ない

Q8 音声モニタ設備を使用する催し物の頻度はどのくらいですか？

- 全ての催し物で使う 75%以上の催し物で使う 50%程度の催し物で使う
25%以下の催し物で使う 全く使わない

Q9 貴ホール・劇場に音声モニタ設備は必要ですか？

- 必要である : 形態 単独の音声モニタ設備として 舞台音響設備の一部として
必要ない : 理由 運用上不要 他設備で代用できる(代用設備:)
その他 ()

Q10 貴ホール・劇場で音声モニタ設備を管理しているのはどの部門ですか？

- 舞台 照明 音響 催し物によって異なる
その他 ()

Q11 貴ホール・劇場の音声モニタ設備の系統分け(個別に音源・音量が制御できるエリア)はどのようになっていますか？該当する系統数を記入し、系統名を選択してください。(複数選択可)

- 系統数 () 系統
全系統 楽屋 スタッフ ホワイエ 事務所
その他 ()

Q12 貴ホール・劇場における音声モニタ設備の音量・エリアの設定はどのようにされていますか？

下記から1つ選択してください。

- 催し物ごとに設定を変えている 催し物ごとに設定を変えない
その他 ()

Q13 貴ホール・劇場では音声モニタ設備の音量・エリアの設定は誰が行っていますか？

- 音響スタッフ その他 ()

Q14 音声モニタ調整部の操作をされる方は誰ですか？(複数可)

- 音響スタッフ 照明スタッフ 舞台スタッフ 会館事務職員 利用者(市民)
その他 ()

Q15 音声モニタ調整部の操作場所として望ましい場所を下記より選択してください。(複数可)

- 音響調整室 調光室 下手袖 上手袖 スタッフ諸室
会館事務室 その他 ()

「舞台連絡設備」第3回アンケート調査票

Q16 貴ホール・劇場における現在の設備構成と希望する設備構成を下記に記入してください。

※現在設置されていない場合は希望する構成のみを記入ください。

※該当する出力先・系統がない場合は

空欄

 に記入して回答ください。

出力先 (スピーカ位置)	現在の構成					希望する構成				
	楽屋系統	スタッフ系統	ホワイエ系統	事務所系統		楽屋系統	スタッフ系統	ホワイエ系統	事務所系統	
下手袖 (記入例)		○					○			
楽屋・楽屋通路										
リハーサル室										
楽屋事務室										
舞台スタッフ室										
下手袖										
上手袖										
舞台監督卓										
舞台機構卓										
調光室										
フォロースポット室										
主催者室										
会館事務室										
ロビー・ホワイエ										
施設内の他ホール諸室へ										
CCTV (映像モニタ)										

「舞台連絡設備」第3回アンケート調査票

Q17 音声モニタ設備について、現設備への満足・不満や希望ほか自由に記入ください。

■演出仕込みトークバック設備

演出仕込みトークバック設備とは、仕込みの際は、機構運転時の注意喚起を伝達し、稽古・リハーサルの際は、演出上の指示を出演者・スタッフに伝達するための設備です。

有線マイクやワイヤレスマイク、調整部、スピーカなどで構成されます。以下、トークバック設備

Q18 貴ホール・劇場にトークバック設備が設置されていますか？

- ある : 形態 単独のトークバック設備 舞台音響設備の一部
ない

Q19 トークバック設備を使用する催し物の頻度はどのくらいですか？

- 全ての催し物で使う 75%以上の催し物で使う 50%程度の催し物で使う
25%以下の催し物で使う 全く使わない

Q20 貴ホール・劇場にトークバック設備は必要ですか？

- 必要である : 形態 単独のトークバック設備として 舞台音響設備の一部として
必要ない : 理由 運用上不要 他設備で代用できる (代用設備:)
その他 ()

Q21 貴ホール・劇場でトークバック設備を管理しているのはどの部門ですか？

- 舞台 照明 音響 その他 ()

Q22 貴ホール・劇場ではトークバック設備の設定・音量調整は誰が行っていますか？

- 音響スタッフ その他 ()

Q23 トークバック調整部の操作をされる方は誰ですか？ (複数可)

- 演出家 舞台監督 舞台スタッフ 照明スタッフ 音響スタッフ 主催者
会館事務職員 利用者 (市民)
その他 ()

「舞台連絡設備」第3回アンケート調査票

Q24 貴ホール・劇場における現在の設備構成と希望する設備構成を下記に記入してください。

※現在設置されていない場合は希望する構成のみを記入ください。

※該当するマイク・スピーカ位置がない場合は 空欄 に記入して回答ください。

マイク位置	現在の構成					希望する構成				
	有線 マイク	W L マイク	イン レ ン ス マイク			有線 マイク	W L マイク	イン レ ン ス マイク		
舞台監督卓(記入例)	○					○	○			
舞台連絡設備架										
舞台監督卓										
舞台機構操作卓										
調光室										
客席内演出家席										
スピーカ位置 (拡声対象)	現在の構成					希望する構成				
	常設 スピーカ	仮設 用端子	音声 モニタ 兼用			常設 スピーカ	仮設 用端子	音声 モニタ 兼用		
舞台内										
舞台袖										
フライギャラリー										
スノコ										
奈落										
迫乗込口										
客席内										
音響反射板内										
綱元										

「舞台連絡設備」第3回アンケート調査票

Q25 トークバック設備について、現設備への満足・不満や希望ほか自由に記入ください。

■楽屋呼出設備

楽屋呼出装置とは、舞台監督や進行係が楽屋や楽屋廊下にいる出演者を呼び出すための設備です。
呼出用のマイク、調整部、各楽屋のスピーカなどで構成されます。

Q26 貴ホール・劇場に楽屋呼出設備が設置されていますか？

- ある : 形態 単独の楽屋呼出設備 舞台音響設備の一部
インターホン設備として
- ない

Q27 楽屋呼出設備を使用する催し物の頻度はどのくらいですか？

- 全ての催し物で使う 75%以上の催し物で使う 50%程度の催し物で使う
25%以下の催し物で使う 全く使わない

Q28 貴ホール・劇場に楽屋呼出設備は必要ですか？

- 必要である : 形態 単独の楽屋呼出設備として 舞台音響設備の一部として
インターホン設備として
- 必要ない : 理由 運用上不要 他設備で代用できる (代用設備:)
その他 ()

Q29 貴ホール・劇場で楽屋呼出設備を管理しているのはどの部門ですか？

- 舞台 照明 音響 その他 ()

「舞台連絡設備」第3回アンケート調査票

Q30 楽屋の呼出方法について必要なものを下記より選択してください。(複数可)

- 楽屋ごと単独に呼出 複数の楽屋を選択して同時呼出 (グルーピング)
 全楽屋を一括で同時呼出
 その他 ()

Q31 呼出音声と音声モニタの切替えについて、必要な機能を下記より選択してください。(複数可)

- 呼出中は音声モニタが切れる 呼出中は音声モニタの音量が下がる
 呼出中も音声モニタの音量は変わらない
 その他 ()

Q32 貴ホール・劇場における現在の機能と希望する機能を下記に記入してください。

※現在設置されていない場合は希望する機能のみを記入ください。

※該当する対象室・機能がない場合は

空欄

 に記入して回答ください。

呼び出し対象室	現在の機能					希望する機能				
	個別呼出	グルーピング	全室一括呼出	音声モニタ兼用		個別呼出	グルーピング	全室一括呼出	音声モニタ兼用	
小楽屋 (記入例)	○		○					○	○	
個室楽屋										
小楽屋										
中楽屋										
大楽屋										
リハーサル室										
施設内他ホール楽屋										

「舞台連絡設備」第3回アンケート調査票

Q33 楽屋呼出設備について、現設備への満足・不満や希望ほか自由に記入ください。

■キューランプ、キュー番号表示設備

キューランプ、キュー番号表示設備とは、舞台転換や出演者の登退場などのタイミングを、ランプの点灯や色変化・番号表示といった視覚的な方法で表示するための設備です。

技術諸室や舞台各所に設置する子機と、それらへ信号を送る操作部（親機）で構成されます。以下、キュー設備と呼ぶ

Q34 貴ホール・劇場にキュー設備が設置されていますか？

ある : メーカー名 () シリーズ名 () ch数 (ch)

ない

Q35 キュー設備の子機はどのような方式ですか？（複数可）

ランプが点灯・消灯する ランプの色が変化する キュー番号が表示される

文字情報を表示することができる 子機側から親機へアンサーバックができる

その他 ()

Q36 キュー設備の親機はどのような方式ですか？（複数可）

子機のランプを点灯・消灯させる 子機のランプの色を変化させる

キュー番号を送ることができる 文字情報を送ることができる

複数子機をグルーピングし、一つのボタンで一括操作できる

シーンを組んでシークエンス運転ができる

その他 ()

Q37 キュー設備を使用する催し物の頻度はどのくらいですか？

全ての催し物で使う 75%以上の催し物で使う 50%程度の催し物で使う

25%以下の催し物で使う 全く使わない

「舞台連絡設備」第3回アンケート調査票

Q38 貴ホール・劇場にキュー設備は必要ですか？

- 必要である : 希望メーカー名() シリーズ名() ch数(ch)
必要ない : 理由 運用上不要 他設備で代用できる(代用設備:)
その他()

Q39 貴ホール・劇場でキュー設備を管理しているのはどの部門ですか？

- 舞台 照明 音響 その他()

Q40 貴ホール・劇場で必要なグループ数を1つ選択してください。

- 1 グループあれば良い 2 グループあれば良い 4 グループあれば良い
グループ以上必要 : グループ数(グループ)

Q41 貴ホール・劇場に装備されたキュー設備の子機(表示器)台数について1つ選択してください。

- 十分にある ある 不足している

Q42 キュー設備(子機)の使用が必要とされるエリアを下記より選択してください。(複数可)

- 舞台・袖 奈落 スノコ フライギャラリー 鳥屋口 客席全般
シーリング投光室 フロントサイド投光室 調整室 その他()

Q43 キュー設備の持込みについて1つ選択してください。

- よくある たまにある ほとんどない

Q44 ホール・劇場の固定設備としてキュー子機およびグループ数が、どの程度まで設置されていれば良いですか？

- 大型の演目にも対応できる十分な子機台数の常設が必要 : 子機()台、グループ()
日常的な演目に対応できる台数が常設されていれば良い : 子機()台、グループ()
機器は催し物に応じてレンタルまたは持ち込まれるので、持込に対応できれば良い
その他(自由記述)

